

令和7年度 北海道帯広養護学校 学校自己評価【教職員】結果

1 学校運営に関して		平均点	昨年度
1	学校の教育目標や学校経営の方針及び重点を踏まえ、具現化するという意識のもと日常の教育活動、業務を行っている。	3.13	3.07
2	各部署（教務、舎務、事務、学部、分掌等）を計画的・効率的・効果的に業務を行い、時間外勤務の縮減を図っている。	2.96	2.87
3	各部署（教務、舎務、事務、学部、分掌等）と報告、連絡、相談を適切に行いながら業務を行っている。	3.26	3.21

2 教育課程に関して		平均点	昨年度
4	児童生徒の教育的ニーズを踏まえ、将来の進路や生活を見据えた教育課程が編制、実施されている。	3.16	3.04
5	新学習指導要領、年間指導計画等に基づいて、小学部・中学部・高等部とも系統性のある教育課程が編制され、改善、充実させている。	3.02	3.19
6	学部及び学年行事では、児童生徒の実態や学習のねらいを踏まえて計画している。	3.20	3.17
7	交流及び共同学習、地域資源の活用した教育活動が教育課程に位置づけられ、計画的に実施されている。	3.08	3.10

3 学習指導に関して		平均点	昨年度
8	児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階に応じた指導を通じて、自己肯定感を高め、生きる力を育てる指導を行っている。	3.26	3.18
9	「個別の指導計画」では個に応じた目標、手立てを適切に設定し、評価の充実・改善に努めている。	3.27	3.17
10	児童生徒の理解・技能・意欲を大切に、主体的、対話的で深い学びの授業づくりを行っている。	3.14	3.11

4 生徒指導に関して		平均点	昨年度
11	児童生徒の人権を尊重し、言葉遣いや体罰防止を意識した教育を行っている。	3.39	3.33
12	いじめや暴力がないように常に児童生徒の状況を把握し、未然防止に取り組んでいる。	3.42	3.43

5 進路指導に関して		平均点	昨年度
13	キャリア教育の視点から小学部から高等部まで計画的かつ系統的な進路指導の充実に努めている。	3.02	2.96
14	進路に関する情報提供を行い、児童生徒一人一人の進路実現のための指導・支援を行っている。	3.23	3.11

6 保護者・関係機関との連携に関して		平均点	昨年度
15	保護者参観日、保護者懇談、学年通信等を通じて積極的に保護者に学校を公開し、連携している。	3.30	3.35
16	地域の施設や人材等を活用し、教育活動の充実に努めている。	2.98	3.01
17	本校ホームページや学校だより等、地域に本校の教育活動について情報発信に努めている。	3.14	3.06

7 保健・安全に関して		平均点	昨年度
18	児童生徒が健康に過ごすために食育や健康教育に取り組んでいる。	3.42	3.31
19	児童生徒を自然災害等から守るために、安全教育や施設設備の安全点検に取り組んでいる。	3.16	3.12

8 研修・研究に関して		平均点	昨年度
20	授業研究や校内研究など、授業力や専門性の向上を図る研修が充実している。	3.06	3.01
21	校内研究は、テーマや課題を共有しながら計画的、組織的に取り組んでいる。	3.11	3.05

9 センターの機能に関して		平均点	昨年度
22	教育相談や地域の各種学校等への支援や連携に取り組み、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	3.30	3.19

10 服務規律に関して		平均点	昨年度
23	教育公務員としての自覚を持ち、不祥事防止（体罰・交通違反・勤務時間・個人情報の管理・金銭管理など）に取り組んでいる。	3.52	3.55

評定のA（よくあてまる）、B（あてはまる）、C（あまりあてはまらない）、D（まったくあてはまらない）をそれぞれ4点、3点、2点、1点とし、各項目における平均点を算出しています。